

データポリシー策定における標準スキル活用アイデア：九州大学の取り組み

芦北, 卓也
九州大学附属図書館

<https://hdl.handle.net/2324/4794158>

出版情報：2022-06-02
バージョン：
権利関係：

データポリシー策定における 標準スキル活用アイデア

九州大学の取り組み

九州大学DX推進本部 研究データ管理支援部門
九州大学附属図書館 図書館DX支援室
芦北 卓也

<https://orcid.org/0000-0003-1853-7108>

2022年6月2日



九州大学



九州大学におけるデータポリシーの策定に向けて

内閣府「統合イノベーション戦略2021」(令和3年6月18日閣議決定)

- 機関リポジトリを有する全ての大学・大学共同利用機関法人・国立研究開発法人において、**2025年までに、データポリシーの策定率が100%**
- 公募型の研究資金の新規公募分において、**2023年度までに、データマネジメントプラン(DMP)及びこれと連動したメタデータの付与を行う仕組みの導入率が100%**

データポリシー

2025年までに策定

データポリシーを先行して策定した大学

- 2020年3月 京都大学
- 2020年10月 名古屋大学
- 2021年4月 東京工業大学
- 2021年12月 東北大学
- 2022年3月 金沢大学

九州大学では

- 2019年3月 九州大学学術情報リポジトリ専門委員会オープンデータ検討WGでデータポリシー素案を作成(以降棚上げ)
- **2022年5月 DX推進本部RDM支援部門でデータポリシー策定WGを設置**

データマネジメントプラン(DMP)
メタデータの付与を行う仕組み


2023年度までに導入

助成機関によるDMP要求

- 2016年 JST
- 2017年 経済産業省 産業技術環境局
- 2018年 AMED
- 2020年 JSPS学術変革領域研究(A・B)

JSPSについては令和6年度科研費(来年度申請分)から**全研究種目でDMP提出が必須化※**

DMPってなに???



研究者

国立情報学研究所(NII)では

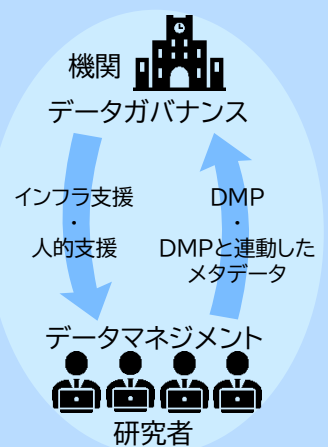
- 研究データ管理基盤として GakuNin RDM(GRDM)を提供
- **GRDM内でDMP作成支援、メタデータ付与できるよう開発中**

九州大学では

- GRDM導入、マニュアル作成予定
- GRDMに接続可能な研究データ管理用ストレージを準備中

公的資金により得られた研究データを管理し
利活用する体制

研究データの戦略的な
保存・管理



新たな研究システムの構築

オープンサイエンス推進


データ駆動型研究等の推進

↓

研究力強化

第6期科学技術・イノベーション基本計画の重点施策

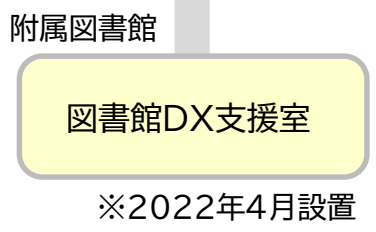
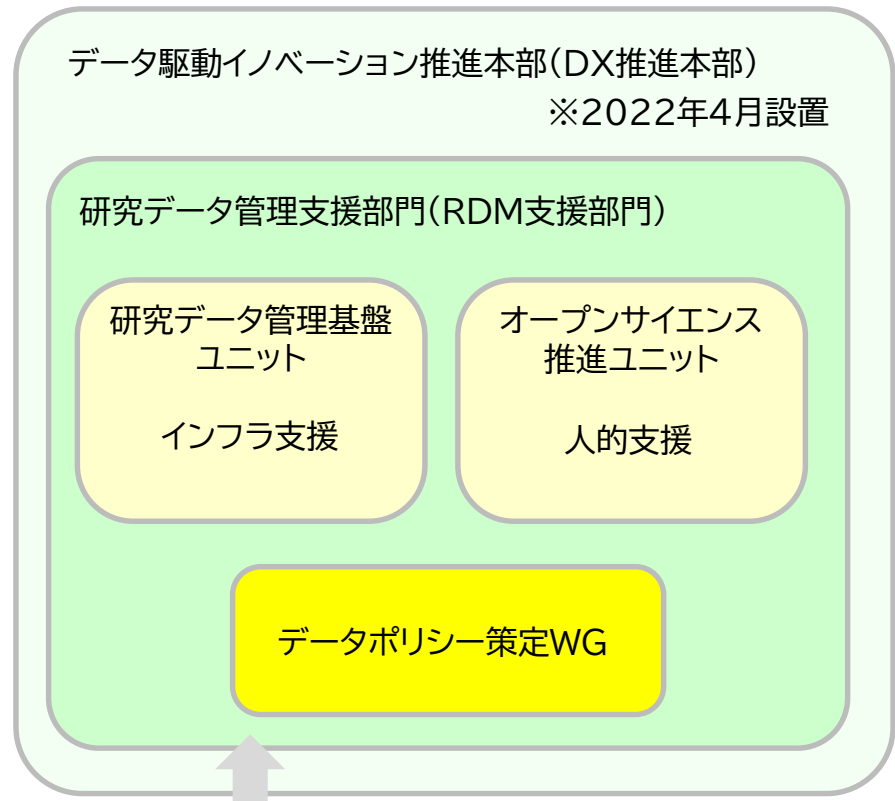
どんなデータポリシーを作るべきか？
 データ管理を効率化したいなあ



研究者

※[FAQ]令和3(2021)年度説明資料に関する主な質問への回答について(JSPS) https://www.jps.go.jp/j-grantsinaid/06_jps_info/g_210709_2/index.html

九州大学におけるデータポリシー策定の検討体制



- データポリシー案は比較的少人数で検討
WGは各分野の教員6名と図書館職員1名で構成
トップはRDM支援部門長
- データポリシー案はWGと学内ステークホルダー間で調整
データポリシーに関連する部署の特定が必要
研究者向けアンケートや学部意見の集約も必要か
- 同時並行的に研究データ管理支援サービスも設計
JPCOAR教材や標準スキルを参考にして具体化中

研究データ管理支援人材に求められる標準スキル(ver.0.1)

全体で90あるスキルのうち、研究前【ポリシー策定・サービス設計段階】に該当するスキルは次の3つ

スキルID	業務区分	業務に必要なスキル	スキルの詳細
S11010001	【機関の】研究データ管理戦略の策定	戦略策定支援(機関)	機関に必要な研究データ管理の将来像を描いたうえで、現状と将来のギャップを分析し、取り組みのロードマップを策定する能力(現状把握のための調査実施能力・技術も含む)。
S11020001	【機関の】データポリシー作成・更新	ポリシー作成・更新支援(機関)	データポリシーの背景にある「研究公正」と「オープンサイエンス」の潮流や原則を理解したうえで、一般的なデータポリシーに「含まれるべき要素」を把握し、所属機関のポリシーに必要もしくは不足している要素を特定する能力。大学全体の研究戦略と、研究助成機関や出版社のポリシーの双方への理解。
S11030001	【機関の】研究データ管理支援サービスの設計	サービス設計・調査(機関)	ステークホルダーをもれなく想定し、機関レベルで研究データ管理に取り組む体制の構築。ニーズ把握のための量的・質的調査(アンケートやインタビュー)を設計・実施する知識と技術、試行・評価・改善を繰り返し、長期計画で取り組む能力。

該当する3スキルの「業務を担いうる職種(参考)」は、いずれも「経営者/RDM/図書/IT/URA/研推/IR/産官学/知財」

これらの職種は具体的な職名や業務内容は？

研究データ管理支援人材に求められる標準スキル(ver.0.1)

これらの職種(白抜き)の職員にデータポリシー策定に協力を要請

略称	職名(一例)	説明
経営者	学長、理事、執行部、部局長	研究機関やその部門の長、理事として経営を担う責任者
RDM	RDMコーディネーター(マネージャ)	全学または研究プロジェクトのRDMに関わる業務(主に調整や統括的マネジメント)を専門的に行う担当者
図書	図書系事務職員	機関リポジトリなど成果発信に関わる業務の担当者
IT	情報基盤系技術教職員	情報基盤(インフラ・ネットワーク)に関わる業務を専門的に行う担当者
URA	リサーチアドミニストレーター(URA)	研究推進に関わる業務を専門的に行う担当者
研推	研究推進系事務職員	研究推進に関わる業務の担当者
教務	教務系事務職員	教務系のうち、学生の論文の受理に関わる業務の担当者
IR	IR担当職員(IRer)	IR(機関研究)を専門的に行う担当者
産官学	産官学コーディネーター、産官学担当職員	産官学連携、社会連携に関わる業務を専門的に行う担当者
知財	知的財産担当職員	特許、研究成果(データベース含む)の著作権に関わる業務を専門的に行う担当者
契約	契約担当職員	共同研究時の契約を専門的に行う担当者
秘書	研究室秘書、事務補佐員	研究室等の事務全般の支援を担当する者
実験	実験・測定装置担当職員	特定の装置等による実験や測定を実施、支援を専門的に行う担当者
DS	(データ解析・分析に関わる)専門職員・技術補佐員等	データサイエンスの研究者(データサイエンティスト)、技術者(データエンジニア)

- このうち「RDM」は、九州大学ではRDM支援部門の教職員が該当？
- それ以外の職種についても学内の実際の部署に置き換える必要がある。

研究データ管理支援人材に求められる標準スキル(ver.0.1)

データマネジメントプランの作成支援や更新に関連するスキル

スキルID	業務に必要なスキル	スキルの詳細	業務を担う職種(参考)
S12050001	事項理解	申請先機関のデータマネジメントプランの「記載要求事項」の理解。	RDM/図書/IT/URA/研推/産官学/知財/契約/秘書/実験/DS
S12050002	情報整理	データマネジメントプランを作成するためのツールやテンプレート、過去に提出されたプランや事例の情報を整理する能力。	RDM/図書/IT/URA/研推/産官学/知財/契約/秘書/実験/DS
S12050003	センシティブデータ対応	保存や利用に注意が必要なデータ(例:センシティブデータ)についての知識と、具体的な対処方法(取り扱い)についての知識。	RDM/図書/IT/URA/研推/産官学/知財/契約/秘書/実験/DS
S12050004	執筆補助	記載すべき内容・対応方法等のアドバイスをを行い、執筆補助(添削を含む)を行う能力。	RDM/図書/IT/URA/研推/産官学/知財/契約/秘書/実験/DS
S20120001	評価	中間評価等のタイミングにおいて、データマネジメントプランの実施状況を評価し、データマネジメントプランの更新を支援する能力。更新に際して、必要に応じて提出先機関への確認や、関係部署との新たな体制構築等も行える能力。	RDM/図書/IT/URA/研推/産官学/知財/契約/DS

- 九州大学でこの業務に一番詳しい部署は? 「研推」? 「URA」?
- 標準スキルには職種間の重みづけがないため、関連性の度合いは自分で考える必要がある。

研究データ管理支援人材に求められる標準スキル(ver.0.1)

法律や契約、知的財産に関連するスキル

スキルID	業務に必要なスキル	スキルの詳細	業務を担いうる職種(参考)
S12050003	センシティブデータ対応	保存や利用に注意が必要なデータ(例:センシティブデータ)についての知識と、具体的な対処方法(取り扱い)についての知識。	RDM/図書/IT/URA/研推/産官学/知財/契約/秘書/実験/DS
S12060201	契約実務	NDA(秘密保持契約)、研究中のデータ共有に係る取り決め、成果の公開範囲、知的財産権の取扱い等、研究開始に先立ち必要となる合意や締結すべき契約についての理解。法的知識に基づき、契約や合意内容の選択肢を提示し、合意文書作成等まで実施する実務能力。	RDM/図書/IT/URA/研推/教務/産官学/知財/契約/秘書/DS
S30130201	戦略立案(プロジェクト)	(知財化など)戦略的に公開区分・公開猶予期間を検討すべき場合や事情を有する研究データの場合に、公開データの利用条件や、事前の許諾取得手続き、適切なデータ処理の方法について理解し、アドバイスする能力。	RDM/図書/IT/URA/研推/産官学/知財/契約/DS
S30150301	出版・公開・普及技術	出版・公開された論文・データの普及・宣伝に係る支援・アドバイス(拡散・リンクさせるためのリポジトリ・リポジトリネットワーク等の最新の技術を用いたインフラ活用方法の理解)や、データの経済的価値の保持・評価・プロモーション(データの売り込み等)に係る取り組みを実施又は支援する能力。	RDM/図書/IT/URA/研推/IR/産官学/知財/契約/実験/DS

- 九州大学でこの業務に一番詳しい部署は？「産官学」？「知財」？「契約」？
- 九州大学では「知財」は「産官学」内の一部署となっている。機関によっては兼務の場合もある？



誰?

研究データ管理の
支援についてご相談
させてください

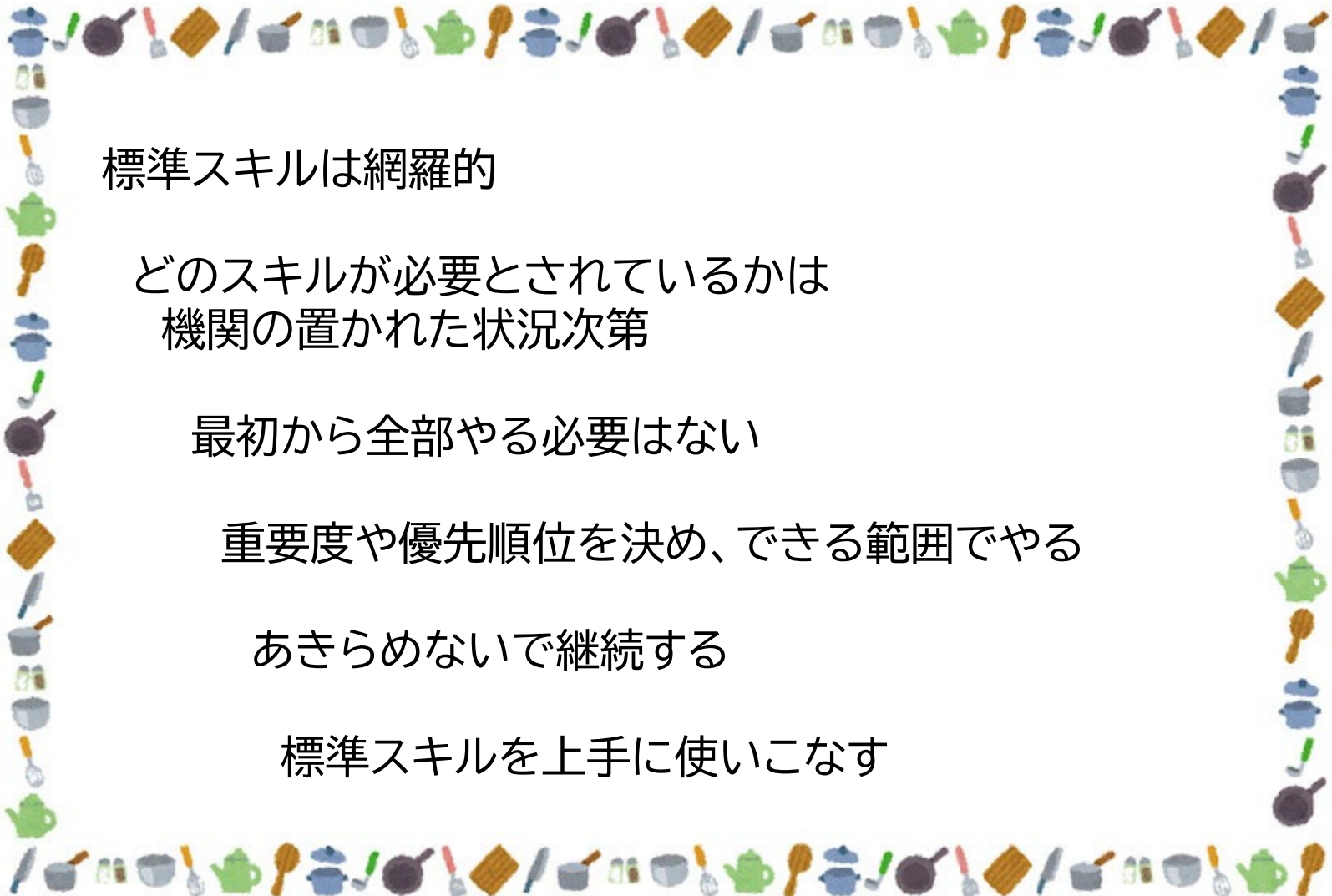
研究データ管理支援人材に求められる標準スキル(ver.0.1)

ステークホルダー間の連携体制の構築・維持に関わるスキル（汎用スキル）

スキルID	業務に必要なスキル	スキルの詳細	業務を担う職種(参考)
G00000015	関係構築・連携	自身だけでなく様々なステークホルダーが議論に参加できるように、関係を構築し、連携を呼びかけ、適切な体制を組む能力。	全職種(共通)
G00000016	ステークホルダー(組織内)	自組織における、「研究データ管理」の関連部門や、マネジメント層を含む関係者の事前把握（目を向ける・視野を広げる・照会する等）。	全職種(共通)
G00000017	照会(組織外)	自組織のみでは「対応できない」支援ニーズに応えるため、機関内外・部署内外の「適切な担当者」の事前把握（問い合わせる・協力する・連携を打診する等）。	全職種(共通)

- 研究データ管理の取組みを大学全体に拡大する上で、スキルが後ろ盾になる。
 - 組織的には、これまで図書館としてどこまで主体的に取組めるのか不明だったが、今後はDX推進本部の一部門として取組むことが可能になった。
- ステークホルダーへの協力の呼びかけにおいても標準スキルを活用。
 - 業務担当者にスキルを見せ、これは全国標準でどの大学でもやっている(やる予定)と説明。
 - 90のスキルをいきなり全部見せず、関連するものだけ抜粋して部分的に見せる。

まとめ



標準スキルは網羅的

どのスキルが必要とされているかは
機関の置かれた状況次第

最初から全部やる必要はない

重要度や優先順位を決め、できる範囲でやる

あきらめないで継続する

標準スキルを上手に使いこなす